

議事録 兼 報告書

会 議 名 称	伊那市上下水道事業運営審議会
日 時	令和7年8月26日（火） 13：30～14：00
場 所	伊那市役所 第1委員会室
議 事 内 容	
（進行 水道部長） 1 開会のことば 副会長 2 あいさつ 会長 3 会議事項（議長 会長） （1）水道料金の改定に係る答申について ・事務局より説明 ・質疑討論 （委 員） 私事ではありますが、身内がこのようなことに関する自治体向けの資料を作成する企業に勤めておりまして、現在の各市町村の上下水道事業は、相当厳しい状況になっていると言っております。特に郊外の町村部は本当に深刻な状況で、本来は遠く離れているほど送水にかかるコストは増えるはずなのですが、距離に関係なく市内が一律の料金になっていることなどにより、経営的には相当厳しくなっているという現実もあり、人口減少がこれだけ進む中で、今後ますます厳しくなるのではないかということも話しておりました。そのような中で、そうした現実を市民の皆さんがどれだけ知っているかということ、十分に理解されているとまでは言えないのではないかと思います。市の水道部では、安定給水のために一生懸命経営努力をさせていただいており、その上で、今の時点では値上げをする必要はないという提案になっているのだと思います。本当にやりくりをする中で、コストを削減して、人員を削減して、ということだと思いますが、こうした状況も災害等がきっかけとなり、一変してしまうかもしれません。そうした危機感を市民の皆さんへ如何にプレゼンしていくか、知ってもらおうかという部分が非常に重要だと思いますので、是非力を入れて取り組んでいただきたいと思います。意見の内容はこのとおりだと思いますが、私たちの命に直結する水道が、今は本当に厳しい状況にあるんだよ、料金水準もこれだけギリギリに抑えている状況なんだよ、今は料金を据え置いたとしても、将来的には皆で考えていかなければならないことなんだよ、という部分を強いメッセージによって行政から市民の皆さんへ伝えていってほしいですし、そうした言葉が答申書の中に入っているといいなと思い	

ました。

(会 長) ありがとうございます。ごもっともなご意見だと私も思います。私もこの審議会の委員を何期か務めさせていただいておりますが、市民へ分かりやすく情報を伝えるということをずっとお願いしてまいりました。会議で使う資料の内容も、最初のころはちんぷんかんぷんで分かり難かったのですが、事務局にもご苦労いただきながら最近は大いぶん分かりやすい資料になってきたのかなと思っています。ご意見はおっしゃるとおりで、引き続き丁寧な広報をしていく必要があると私も思います。積極的な広報という視点を附帯意見の中に入れてほしいというご意見ということでよろしいでしょうか。

(委 員) はい。

(会 長) 私も1文追加していくことでよろしいかと思いますが、事務局はいかがでしょうか。

(事務局) 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。附帯意見のほうへしっかり盛り込ませていただきたいと思いますし、現状について少しお話させていただきますと、毎年水道週間や下水道週間というものがありまして、その期間に合わせて市役所1階の市民ホールで上下水道の役割や使い方等について、水道部の若手職員が中心となって展示をしたりですとか、それに合わせて市報、ホームページへの掲載を行っておりますが、委員のおっしゃるとおり、危機感を伝えるという部分はまだまだのところがありますので、先ほど申し上げた展示や市報等への掲載においても取り組んでいきたいと思っています。

(会 長) よろしいでしょうか。

(委 員) はい。

(会 長) ほかにございますでしょうか。

(委 員) 附帯意見の(3)ですが、今朝のNHKのニュースでもやっておりましたが、八潮市の道路陥没事故について、復旧までに7年ほどかかるということで、各市町村では最新の機材を入れながら老朽化の検査を進めているという報道がありました。伊那市には八潮市のような大きな管は無いと前々回に伺っておりますが、いずれにしても今後そうした老朽管の検査等を行う必要性が出てくる中で、今回の料金改定の据え置きという判断は、そうした検査費用が高騰することも織り込まれているのかお聞きしたいと思います。また、検査に必要な人的リソースというか、ノウハウを持った方がいらっしゃると思いますが、例えばそういった方が高齢化したときにバトンタッチすることが難しいとか、人的リソースの引継ぎが円滑に進まないことで、老朽化や耐震化の事業がうまく進まないという課題があるのか、無いのかという部分を確認させていただきたいと思います。

(会 長) はい。2点について事務局いかがでしょうか。

(事務局) まず、物価の上昇が織り込まれているかという点ですが、電気料金や労務単価の上昇、委託料の増加など昨今の物価高騰が経営を圧迫しているというのが現状でございます。今回の料金改定にあたり、令和15年度までの財政シミュレーションを行っておりますが、物価の上昇率等も考慮に入れ、試算をしております。

(事務局) 人材育成やスキルの引継ぎによって維持管理のレベルを下げないようにやっていくという点につきましては、現在、業務委託の範囲を拡大しておりまして、人事異動等により職員が変わってもノウハウを持った業者へ管理をお願いできるような方向で取組を進めております。また、上下水道が埋設された地下空間の調査につきまして、全てを調査するということはできませんので、主要な幹線道路や緊急輸送路から優先的に調査しています。国からもそのような指導がありますので、引き続き進めていく予定です。

(会 長) ありがとうございます。非常に大事なことでございます。只今の回答でよろしいですか。

(委 員) はい。ありがとうございます。

(会 長) なかなか難しいことですね。私も職業柄ですね、技術を発展させていくことよりも、人から人へノウハウを継承していくことがいかに難しいかということは痛感しております。実績のしっかりあるところへ委託しているということですから、技術面の心配は無いと思いますが、委託先に業務を任せきりになってしまうということもよくありますので、市の職員は、業務を監督する立場でのレベルをいかに維持し、高めていくかということが大事なのかなと思います。附帯意見として、何かを付け加える趣旨のご意見ではないということでしょうか。

(委 員) はい。確認ですので結構です。

(会 長) 他にはございませんか。

はい。それでは他に意見はなさそうですので、以上とさせていただきます。先ほどご意見のありました「広報」に関して、しっかり市民へ伝えるべきだということを市に伝えてほしいという内容ですが、附帯意見に追加していくということで、皆さんもよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは広報に関する内容を追加していきたいと思いますが、諮問内容に対する異議のあり・無しには直接関係しない部分だと思いますので、原案の4項目の中で追加していくのか、新規の項目とするのか、という部分は私どもにお任せいただきたいと思います。事務局と正副会長で答申書の作成作業を行い、附帯意見に盛り込んだ形で市長の方へ提出していきたいと思います。

(2) 下水道使用料等の改定に係る答申について

・事務局より説明

(会 長) はい。ありがとうございます。こちらの附帯事項では、値上げということもあるので、市民に対する説明についての内容が入っておりますが、先ほどのご意見は、値上げをするしないに関係なく、伊那市がどのような状況に置かれているのか、という部

分をもう少し広報したほうが良いのではないか、という趣旨だと思います。下水道につきましても、もちろん同様に広報の必要性はあると思いますが、水道事業の答申書に事務局で加筆いただき、正副会長で確認した上、確定していくということになろうかと思います。その過程で、上下水道で齟齬が無いように修正させていただく部分があるかもしれません。そのあたりはご了承いただきたいと思います。

(意見・質疑無し)

(3) その他

・なし

4 その他

・なし

5 閉会のことば

副会長

以 上